

## 文伸制作 周年誌 実績レポート

CLIENT

学校法人  
杏林学園様

TITLE

杏林学園五十年史

GENRE

大学

SCHOOL



創立50周年を迎えた2016年、井の頭キャンパスを開設。教育・研究機関が三鷹市に集結し、さらに飛躍するための体制が整いました。以前作られた「15年史」から35年の空白期間を経て、散逸が心配されていた大量の資料を一気にまとめることができました。

### 【仕様】

A4規格

160ページ

ハードカバー(函付き)

【発行】2017年

## 新しいキャンパスで 飛躍する杏林大学を ダイナミックに表現



3

### 1 創業者、松田進勇氏を 引き立たせて

現在まで脈々と流れる学園の理念。医療教育に尽力した創業者、松田進勇氏の熱い思いが伝わるページです。



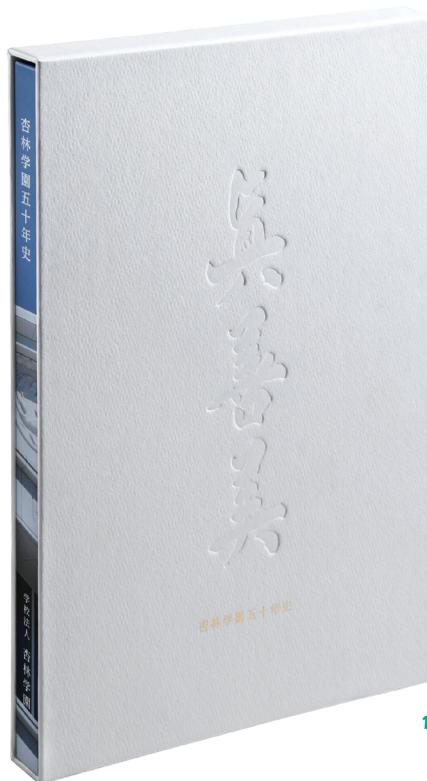
4

### 2 歩みをビジュアルで わかりやすく

過去に発行された膨大な会報や発行物から写真などをピックアップ。学園の歩みをビジュアルでわかりやすく集約したほか、巻末にも資料編をまとめました。

### 1 美しく上品に、 そして誠実に

外函素材には手触りのやわらかなマーメイドを使用し、建学の精神「真・善・美」の文字を空押ししました。手にしたときに浮かび上がる文字が上品な仕上がりとなりました。



1

### 2 インパクトを与え、 印象的な表紙に

シンプルな外函から取り出した瞬間、目に飛び込んでくるダイナミックな写真。表紙から裏へと連続して未来へ飛躍するイメージを表現しました。本文ページには一般的なコート紙を使用、見開きのよい製本となっています。



2

「こんな周年誌を作りたい」  
編集委員の皆さんの  
気持ちに添えて伴走します。



「手作り感を大切にしたい」という編集委員の気持ちに添え、的確なアドバイスと提案で伴走。見て楽しめ、読んだら高評価をいただきました。

2017年に

「五十年史」が完成して、  
反響はいかがでしたか？

この「五十年史」は全教職員および医局や各部署にも配布され、「ぜひOBにも見せたい」という声も届いています。

文伸さんに「写真で歴史をたどる形にしたい」と相談したところ「教職員の写真もたくさん掲載しましょう」ということになり、皆で楽しめるものになりました。それに持ったときのページの開きのよさ、外函のカラ押しの上品さ。表紙写真もダイナミックで文伸さんの底力を感じます。

学園の成長を実体験している方々にとっても「あの時はこうだったね」と、懐かしく思い出深いものになるはずですよ。

2014年から  
制作がスタートするにあたり  
どのような冊子を  
めざしておられましたか？

以前つくられた「杏林学園五十年史」から35年の空白期間があり、貴重な資料が散逸してしまっているのでは、という危惧もありました。そこで創立50周年の節目に学園の歩みを後世に残すことになったのです。「五十年史」は800ページもの記録集です。しりしりしていますが、今回は気軽に手に取って見られるようなビジュアル中心をめざしました。

ページ構成も学園全体の歴史から各学部の成り立ちへと、大枠から詳細へと経緯をたどる形式で希望通りになりました。

プロポーザルにより  
業者を選定されましたが、  
文伸に決めた理由は  
何でしたか？

今回は「一緒に手作りのものを作ろう」という考えが第一でした。プロポーザルを行い、教社の中から文伸さんに決定したのは、地域で実績を積んできた出版社であることと、企画からデザイン、印刷まで一貫して任せられる総合力が決め手となりました。

「記念誌は年表が勝負」と言われますが、年表作りの作業は膨大な資料を相手にまるで格闘でした(笑)。430号以上もある学園会報「あんず」や各学部の発行物などから写真を選び、文伸

プロポーザルの  
決め手は総合力。  
「地元の底力」で  
一緒に手作りできました。



学校法人 杏林学園  
前 参与 / 前 広報・企画調査室長  
吹野俊郎様

制作提案書



Interview with  
KYORIN GAKUEN

予定を上回る7000部の  
発行となりました。  
記念誌を作ってみてどんな  
ところがよかったですか？

当初の発行数は1000部の予定でしたが、理事長から「全教職員がこの歴史を共有するべきである」と高い評価を得て、7000部発行になりました。50年間の資料が散逸することなく次世代に引き継がれ、将来への道しるべとなる記念誌ができたことは、非常に価値あることだと思っています。